

活動区分	商品開発型	連携先	企業
	イベント企画型		

## ～ 神戸学生イノベーターズ・グランプリ (1-1グランプリ) ～

### 活動の様子



「チームコットン」が調査した森の音ミュージアムのSIKドーム

### 取り組む課題

『コロナ禍で打撃を受けた六甲山観光の収益改善』というメインテーマが設定され、より具体的な内容を示すサブテーマとして、六甲山上エリアの各施設(アスレチックパーク GREENIA、六甲森の音ミュージアム、六甲ガーデンテラス、六甲ケーブル)ごとに利用者増や収益改善策を提案することが求められた。



「清水ゼミ 森・佐古」チームが調査したGREENIA

### 本学(学生)の役割

1-1グランプリに参加する学生は、現地を訪問してのフィールドワークや独自調査などで情報収集を行ったうえで、11月に中間発表、12月に最終発表を行った。学生の目線から提案される内容に対し、中間発表において六甲山観光の社員ならびに本学教員からのコメントや指摘が提供され、それをふまえ仕上げた企画を最終発表でプレゼンテーションした。清水ゼミの2チームも、10月に行われたフィールドワーク会に参加したうえで、独自のニーズ調査などもふまえた企画提案を行った。

### 企画・活動概要

流通科学大学が2009年より主催し、学園都市周辺の大学・高校が出場する社会共創活動のイベントで、毎年度、地元企業などにご協力いただき運営されている。今年度の協力企業は、六甲山の山上エリアでレジャー施設を運営する六甲山観光株式会社で、後述のように、コロナ禍で打撃を受けた同社施設の収益改善というテーマが設定された。当イベントは、流通科学大学の学内外から様々な学びをする学生・生徒が挑戦するため、マーケティング論や経営学、経済学、芸術系や観光系の領域からも取り組みやすいサブテーマが設けられた。

### 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

最終発表を経ての審査結果では、残念ながら清水ゼミの2チームは受賞から漏れてしまった。しかし、提案内容自体については、これまでのゼミ活動で培ってきた調査手法やプレゼンテーション力を十分に生かしたものになったと評価できる。



「チームコットン」の最終プレゼン

### 経緯・背景・目的

清水ゼミではこれまでも、4年生の「卒業研究」に取り組む者が、それまでのゼミ活動で養ってきた企画力やプレゼンテーション力を活かす取り組みの集大成の活動の一つとして1-1グランプリに挑戦してきている。今回は、2チームが参加した。

### 指導教員および関係者の紹介

#### <指導教員>

商学部  
マーケティング学科  
教授  
清水信年(シミスノブトシ)

<専門・担当科目等>  
マーケティング論

#### <関係者・企業等>

六甲山観光株式会社